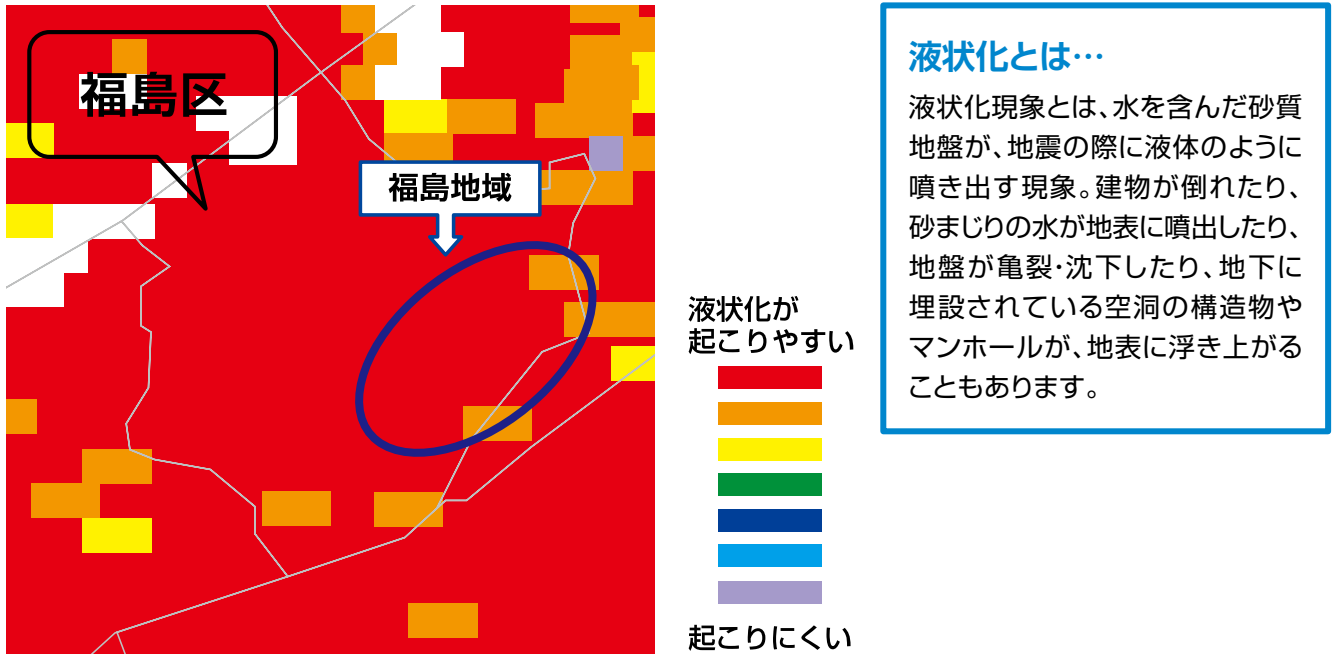


(4) 液状化可能性想定図



福島区では、全体的に液状化が起こりやすい地域となっています。液状化の被害が出ると亀裂や泥などで容易に通行ができず、避難路であっても機能しにくくなります。

(5) 津波被害・河川氾濫・内水氾濫での被害



- 南海トラフ巨大地震による津波被害 …………… 約2.1m (最大) 青色ライン
 [マグニチュード9.1程度の地震が発生し、最大クラスの津波による浸水が起きた場合 (防潮堤の沈下や防潮施設の開閉状況を考慮) (満潮時を想定)]
- 淀川が氾濫した場合の被害 …………… 約5.5m (最大) 赤色ライン
 [総雨量500mmの降雨 (昭和28年9月洪水 (台風13号) の2倍の降雨 (東海豪雨級の降雨)) を想定]
- 豪雨などによる内水氾濫の被害 …………… 約0.5m (最大) 黄色ライン
 [総雨量567mm、時間最大雨量93mmの降雨 (東海豪雨級の降雨) を想定]

(6) 福島区の被害想定

区 分	上 町	南海トラフ
全壊棟数	木造 2,295棟 非 201棟	木造 589棟 非 40棟
半壊棟数	木造 2,190棟 非 532棟	木造 1,015棟 非 148棟
死者数(早朝)	46名	6名
死者数(昼夕)	47~49名	6名
負傷者数	1,292~1,464名	634~685名
避難者数	5,180名	1,636名

(7) 福島地域の被害想定

区 分	上 町	南海トラフ
全壊棟数	木造 198棟 非 32棟	木造 37棟 非 4棟
半壊棟数	木造 177棟 非 77棟	木造 66棟 非 15棟
死者数(早朝)	4名	0名
死者数(昼夕)	7~9名	1名
負傷者数	118~252名	44~93名
避難者数	527名	118名